

全国非開削普及協議会

2014 Vol.30
PRESS



全国非開削普及協議会
第11回定期総会の内容が月間推進技術10月号
に掲載されました

第11回定期総会



会員動向

新たにマンホール浮上防止工法「インナーウェイト工法」を展開

全国非開削普及協議会



▲「社会のニーズに的確に対応できるよう組織体制の確立を」と
あいさつする岡本会長



▲特別講演で「推進工事の現況と展望」というテーマで
持論を展開する石川専務理事

全国非開削普及協議会（当協会：賛助会員、会長：岡本州雄・スピーダーレンタル㈱代表取締役社長）は、8月29日メルパルク東京（東京・芝公園）において第11回の定期総会と特別講演を開催した。

総会の冒頭、岡本会長があいさつに立ち、東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた工法の普及活動として「非開削工事普及推進部会において非開削推進工法、雨水ます浸透化工法であるEGSM工法、マンホール浮上防止工法であるインナーウェイト工法の3つの矢を柱として工法普及活動の展開を進める。環境保全技術普及部会では、環境保全に貢献すべく技術アイテムの普及促進と放射能汚染水の処理技術確立に向けてさらなる技術革新を進める」と活動方針を示し、高度経済成長期に建設された社会インフラが一斉に更新時期をむかえることを念頭に「社会のニーズを的確に対応できるよう組織体制の確立を進めたい」とあいさつを締めくくった。

議事では、支部を含めた協議会

組織の拡大と非開削工事、環境保全技術普及、EGSM工法ならびにインナーウェイト工法の普及拡大を柱とした今年度事業計画とそれに伴う予算案を審議し、満場一致で可決承認された。また、今年度は役員改選期にあたり新役員を審議し、岡本会長の再任が全会一致で承認された。

議案終了後の各部会の報告では、非開削推進部会から昨年度の各都市への活動状況が示され、さらに新たな取り扱いとなったマンホール浮上防止工法「インナーウェイト工法」の技術講習会を開催した。浮上防止マンホール工業会の石川隆事務局長が講師となり「事前調査の重要性」を強調しながら調査票の記入方法や実施工の写真を示し施工方法などをレクチャーした。

発足し7年経過した環境保全技術普及部会からは①再生砕石②改良土③流動化処理土④六価クロム汚染土壤処理⑤重金属油汚染土壤処理⑥アオコ処理⑦床ワックス剥離廃液処理⑧一般土木処理（SS成分20,000 mg/l以下）⑨金属

加工・メッキ工場排水処理⑩有害物含有排水処理⑪六価クロム等重金属含有排水処理⑫特殊排水処理（エマルジョン、油分等）の12項目のビジネスアイテムについての活動状況と今後の展開について報告。さらに福島第一原子力発電所事故による放射能汚染地域の高圧洗浄時に発生する放射能汚染水の処理の対応を行っていることなどが報告された。

総会終了後の特別講演で（公社）日本推進技術協会の石川和秀専務理事が「推進工事の現況と展望」—日本推進技術の海外定着に向けて“推進チーム日本”がなすべきこと—というタイトルで①日本推進技術の本質と強みを確認せよ⇒競合との技術的差別化を徹底せよ②技術競合国（欧州、米国、韓国、中国、台湾など）の実態、実力を知れ③相手国の実情を知れ④「推進チーム日本」の編成となすべきこと（日本国内活動）⑤「推進チーム日本」のなすべきこと（相手国内）の5つのテーマに絞り約1時間にわたり持論を展開した。

懇親会

